

SPECIAL

道北の臼井鋳鉄工業、エフ・イーも表彰された
「ものづくり日本大賞」の北海道地域表彰式



「ものづくり日本大賞」に道北から2社

臼井鋳鉄工業とエフ・イーに優秀賞

製造・生産現場の中核を担う中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた

熟練人材などのうち、特に優秀と認められる「ものづくり日本大賞」（経済産業省など主催）の優秀賞に道北地方

から鋳鉄メーカー2社が選ばれ2

「臼井鋳鉄工業株」と農業機械メーカー「エフ・イー」（いずれも旭川市）の

白井鋳鉄工業が「鋳物の特性を生かした音響に透明感のあるスピーカー『CASTRON』、エフ・イーが「根菜類自動皮剥き装置の開発」。

月28日、札幌市のホテルで表彰式が行われた。スピーカー『CASTRON』は、強度の強いダク

年内のホタルで表彰式が行われた。タイル鋳鉄を採用し、木製スピーカーに比べてキレのある音を実現したことが一

年の間に約200台を販売。臼井憲之社長は「自分たちが聞いて気持ちのいい音に

なることを目指して開発を進めた。高い評価をいただき、大変うれしい」と話す。すでに新たな開発に挑戦していることも明らかにした。

北海道地方表彰式は、道内関係11件の関係者が出席して札幌センチュリーホテルで行われ、経済産業省北海道経済産業局の和田修一局長から一人ひとり表彰状と記念盾が贈られた。

佐々木通彦社長は「生産現場に足を運び、生産者の関係の『建設マスター』、厚生労働省関係の『卓越した技能者（現代の名工）』及び『技能五輪国際大会』

では、全国で19件76人の内閣総理大臣賞と併せ、経済産業省関連では103件、549人の経済産業大臣賞、特別賞、優秀賞が決まり、道内の受賞者は計11件。2

年実施しているもので、今回が4回目。当初11年夏に決定予定だったが、東日本大震災の影響でスケジュールが遅れていた。

受賞の対象となつたのは、

刃物をつかわずに、水を噴射させた回転ドラムの上で根菜類を転がしながら素早く、きれいに皮を剥ぐ装置で、度々テレビでも紹介され、今は韓国の農協などからも引き合いがある注目製品になつてている。

本大賞には、国土交通省

と話した。

ころに着目し、全社一丸となつて頑張つていきたい」と話した。

今回の「ものづくり大賞」では、全国で19件76人の内閣総理大臣賞と併せ、経済